

自由課題：がん患者スクリーニング実施数
(平成29年7月1日～12月末日)

施設名	Plan (計画)	Do (実行)	Check (評価)	Act (改善)
19 市立吹田市民病院	100件	<p>・前年度は個別にスクリーニングを配布、それから 面談をしていたが、手間がかかりすぎ少数しか実施できなかった。</p> <p>・今年度はがんで入院する患者に外来担当医からスクリーニングシートを配布してもらい、入院時に部署の看護師に提出してもらうことでスクリーニング実施の大幅アップを目指す。</p>	<p>・平成29年7月1日～12月末までのがん患者スクリーニング面談実施件数は27件で目標は達成できていない。</p> <p>内科(血液、消化器、内分泌、呼吸器、腫瘍)医師へ対象患者への配布を依頼したが、一部にしか浸透せず27件中25件は、同一医師の配布によるものであった。</p>	<p>・浸透不足が最大の原因と考えられるため、症状緩和などで患者介入する機会を利用してがん患者スクリーニングシートの配布数を増やすことができるよう働きかけていく。</p> <p>目標は27件 50件とする。</p>
30 市立ひらかた病院	目標 外来180件、入院100件	<p>・がん患者スクリーニングの定着部署を増やす</p> <p>緩和ケアチームが定着化に向けた取り組みとして、現状と課題を見出し、部署ごとのスクリーニング用紙配布方法を検討した。現在その方法を継続している。</p> <p>・早期のスクリーニングを増やす</p> <p>緩和ケアチーム専任看護師が、病状説明に同席し、スクリーニング用紙を配布した。</p> <p>患者会代表者の意見も踏まえ、早期から医療者が介入する必要性を研修などで伝えた。</p>	<p>・がん患者スクリーニング実施数は、外来147件、入院137件だった。定着に向けた取り組みを開始している。</p> <p>また、早期のスクリーニングを増やすため、病状説明に同席したときに配布するなど、工夫をした。</p>	<p>・がん患者スクリーニング用紙の配布の定着化に向けた取り組みを継続し、成果を確認しながら方法を再検討していく。</p> <p>・スクリーニングの時期を把握し、早期介入者を増やす。</p> <p>・必要な患者がスクリーニングされているか確認していく。</p>